

区分	No.	開講科目名	配当年次	担当教員	専任非常勤	単位数			担当教員の実務経験を活かした授業の内容
						全学共通	学部共通	専門	
共通科目	1	心の科学I	1	野副 紫をん	専任	2			公認心理師及び臨床心理士の資格を有し心理治療の経験を持つ教員が、授業の中で一般的によく見られる精神疾患やセルフモニタリング等、学生の心身健康に関する知識や対処法を教授し、学生のメンタルヘルスの維持増進に寄与する。
	2	心の科学II	1	野副 紫をん	専任	2			公認心理師及び臨床心理士の資格を有し心理治療の経験を持つ教員が、授業の中で一般的によく見られる精神疾患やストレスマネジメント等、学生の心身健康に関する知識や対処法を教授し、学生のメンタルヘルスの維持増進に寄与する。
	3	日本の文化と社会	1	四辻 秀紀	専任	2			この科目は、徳川美術館で学芸員の経験を有する教員が、日本の歴史の中で培われてきた文化諸相を通覧し、内在する伝統と変遷を探究する「実務経験のある教員による授業科目」です。
	4	情報と社会行動の科学	1	大谷 尚	専任	2			2010-2012の3年度に渡る名古屋大学教育学部附属中・高等学校校長としての実務経験を、本授業の学校教育に関する内容に反映させる。
	5	環境共生の探究I	1	郡 麻里	専任	2			担当教員は環境省など国の委託事業や補助事業を担当した経験があるため、それらを活かし、現在の国の生物多様性保全戦略や気候変動への対策・方針について紹介する。
	6	ビジネス情報処理II	3	宇梶 郁	専任	2			システム開発やシステム管理、プロジェクトマネジメントの実務経験がある教員が、情報技術や情報システムの事例や注意点を示すことで、理解を深めることができるよう配慮した授業を展開する。
	7	体験型プロジェクト(FE)企業探索	1	松井 義司	専任	4			担当教員は電機メーカーに長年勤務し新興国での市場開発に従事し、販売会社の運営・組織運営や人材育成・販路や物流体制の構築・代金回等に関わってきた。これらを踏まえ、地元企業の様々な仕組み・工夫について学生の皆さんと理解を深めていきたい。
	8	体験型プロジェクト(FG)犬山学講座	1	四辻 秀紀	専任	4			この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、地元の歴史・文化に関心を寄せ、古典や歴史に対する知識と理解度を高める「実務経験のある教員による授業科目」です。
	9	体験型プロジェクト(SB)身近な生活とSDGs	1	白出 博之	専任	4			弁護士および国際協力機構(JICA)法整備支援プロジェクト専門家・国際協力専門員としての実務経験を活用して、世界的な課題等を指摘し、企業の取組み等を掘り下げる。
	10	体験型プロジェクト(SF)ブランド	1	徐 誠敏	専任	4			10年間にわたり、中小企業のブランディングの仕組みづくりを支援する「ブランド・マネージャー認定協会」のアドバイザーとしてつとめながら、多くの中小企業の経営者と実務家たちから学んだ実践的な知識を講義内容に活かす。
	11	体験型プロジェクト(SI)犬山学講座	1	四辻 秀紀	専任	4			この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、日本の代表的な伝統芸能を取り上げ、これらによって育まれた文化形態の理解を深める「実務経験のある教員による授業科目」です。
	12	体験型プロジェクト(SK)犬山学講座	1	郡 麻里	専任	4			担当教員は自然環境や生物多様性の保全とその管理に関する環境省や林野庁などの委託事業や補助事業を実施してきた。その経験を活かし、現在の国の生物多様性保全戦略や気候変動対策・方針について紹介するとともに、各種調査方法を伝授する。
	13	(留)日本事情V	2	四辻 秀紀	専任	2			この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、日本の代表的な伝統芸能を取り上げ、これらによって育まれた文化形態の理解を深める「実務経験のある教員による授業科目」です。
14	市民生活と法	1	佐藤 直史	専任	2			弁護士としての経験を有する教員が法律実務上の経験を活用し、身近な法律について解説を行う授業です。	
15	市民生活とキャリア形成	2	伊藤 繁生	専任	2			企業の採用やインターンシップに関与した経験を持つ教員が、その当該経験を活かしキャリア形成の意義、方法について解説し、その上でキャリア形成を考える授業である。	
16	裁判と法	2	白出 博之	専任	2			担当教員のうち、白出が弁護士として、法律実務上の経験を活用し、身近な法律について解説を行う授業である。	
17	商品と流通の経営学	2	徐 誠敏	専任	2			数年間にわたる中堅・中小企業の経営者たちとのインタビューから得られた知見と一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会のアドバイザーとしての経験を活かすことで、マーケティングやブランディングに関する実践的な知識を教える。	
18	(副)特殊専門講義II(グローバルコミュニケーション概論)	2	佐藤 直史	専任	2			弁護士としての実務経験やアジア諸国における国際協力の経験を豊富に有する教員が実践的な解説を行う授業です。	
19	(副)特殊専門講義II(グローバルコミュニケーションワークショップI)	2	佐藤 直史	専任	2			弁護士としての実務経験やアジア諸国における国際協力の経験を豊富に有する教員が実践的な解説を行う授業です。	
20	社会政策と社会保障	3	木村 牧郎	専任	2			NPO職員として精神障害者の生活支援に携わった経験から、実際の障害者が暮らしと就労を両立させるためにどのような課題に直面しているかを解説する。	
21	金融論	3	谷内 陽一	専任	2			年金基金、銀行、生命保険会社にて私的年金(企業年金・個人年金)の制度・財政運営や資産運用等の業務に従事してきた教員が、金融・ファイナンスに関する理論的体系および実務経験に基づく具体的事例を踏まえて、学術・実務両面の視点から幅広く講義する。	
22	地域調査	3	郡 麻里	専任	4			担当教員は環境省の自然環境保全基礎調査・植生調査や地理情報システム(GIS)を用いた各種環境マップ作成や希少種の保全計画立案を行った経験があるため、プロ仕様の調査票(野帳)の作成や安全対策など、各種手法について紹介し、伝授する。	
23	国際金融論	3	谷内 陽一	専任	2			年金基金、銀行、生命保険会社にて私的年金(企業年金・個人年金)の制度・財政運営や資産運用等の業務に従事してきた教員が、金融・ファイナンスに関する理論的体系および実務経験に基づく具体的事例を踏まえて、学術・実務両面の視点から幅広く講義する。	

専門科目

24	商業簿記	1	荒鹿 善之	専任	2	日商簿記検定試験委員の担当経験がある教員によって行われる授業です。日商簿記検定3級の受験に役立つ資料を配布します。2級の出題範囲に含まれる問題演習にも取り組む場合があります。
25	情報システムの理論と実際	3	小川 哲司	専任	2	情報通信業界にて情報システムの開発経験を有する教員が、情報システムの特性や開発手法について実践的な観点より解説する科目である。
26	情報と法	3	萩原 聡央	専任	2	自治体の情報公開・個人情報保護審査会委員の経験を持つ教員が、情報の自由な流れの保障と情報の保護のバランスが必要であるとの視点から、行政やメディアを含む企業等における情報の取扱いをめぐる課題を解説する。
27	外国法	3	佐藤 直史	専任	2	アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、具体的な事例を通じて、外国法及び日本法を比較の中でどのように理解するかについて、実践的に学ぶ科目です。
28	行政法総論	3	松本 未希子	専任	2	総務省での勤務経験を有する教員が行政法的な思考方法について指導する。
29	家族法	3	近藤 久雄	専任	2	家庭裁判所の家事調停委員をつとめる教員が、家族関係をめぐる法的諸問題(夫婦、親子、遺産分割)の解決方法を、理論と実務の視点から解説することによって、単なる法的知識の習得にとどまらず、家族法を実践的に理解することに役立つ内容になっています。
30	知的財産法	3	白出 博之	専任	2	弁護士としての知財関連事件の実務経験を活用し、知財関連事件の判例分析等、具体的なケースを題材とした説明を実施していきます。
31	労働法	3	宮本 雅史	専任	2	企業内弁護士として、企業の人事労務管理や法務の実務、トラブル・課題解決に携わってきた経験を活かした講義を行います。
32	行政救済法	3	松本 未希子	専任	2	総務省での勤務経験を有する教員が行政法の基本的事項について説明する。
33	刑事訴訟法	3	遠山 圭一	専任	2	弁護士として、民事事件刑事事件に携わっている教員が、捜査段階や公判段階における弁護活動等の実務経験を活かして、実務的な観点から、刑事訴訟法の基本的知識や諸問題について解説する科目である。
34	特殊専門講義II(中国法)	2	白出 博之	専任	2	JICA長期派遣専門家・弁護士としての中国法制度整備支援の実務経験を活用し、中国法の事例分析等、具体的なケースを題材とした説明を実施していきます。
35	(教)教師論	1	高橋 勝也	専任	2	担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行います。
36	(教)教育と社会	2	大谷 尚	専任	2	2010-2012の3年度に渡る名古屋大学教育学部附属中・高等学校長としての実務経験を、本授業の学校教育に関する内容に反映させる。
37	(教)教育実習I	2	高橋 勝也	専任	1	担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行います。
38	(教)教職実践演習(中・高)	4	高橋 勝也	専任	2	学校現場の経験に基づいた指導をおこなう。
39	(教)社会科教育法I	2	高橋 勝也	専任	2	担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行います。
40	(教)社会科教育法II	2	高橋 勝也	専任	2	担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行います。
41	(教)社会科・公民科教育法I	3	高橋 勝也	専任	2	担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行います。
42	(教)社会科・公民科教育法II	3	高橋 勝也	専任	2	担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行います。
43	(教)現代教育の課題	1	大谷 尚	専任	2	2010-2012の3年度に渡る名古屋大学教育学部附属中・高等学校長としての実務経験を、本授業の学校教育に関する内容に反映させる。
44	演習IIA	2	白出 博之	専任	2	弁護士として裁判実務、および我が国のODA事業である法整備支援の長期専門家として立法支援業務等の実務経験をこの演習の内容に活用します。
45	演習IIA(再)	3	佐藤 直史	専任	2	弁護士実務経験に加え、アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、学生のみなさんが法学部で学び、身につけたことを社会でどのように活用するかについて、実践的に学ぶ科目である。
46	演習IIIB	2	白出 博之	専任	2	弁護士として裁判実務、および我が国のODA事業である法整備支援の長期専門家として立法支援業務等の実務経験をこの演習の内容に活用します。
47	演習IIIB(再)	3	佐藤 直史	専任	2	弁護士実務経験に加え、アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、学生のみなさんが法学部で学び、身につけたことを社会でどのように活用するかについて、実践的に学ぶ科目である。
48	演習IIIA	3	佐藤 直史	専任	2	弁護士実務経験に加え、アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、学生のみなさんが法学部で学び、身につけたことを社会でどのように活用するかについて、実践的に学ぶ科目です。
49	演習IIIA	3	白出 博之	専任	2	弁護士として裁判実務、および我が国のODA事業である法整備支援の長期専門家として立法支援業務等の実務経験をこの演習の内容に活用します。
50	演習IIIA	3	遠山 圭一	専任	2	弁護士として、民事事件・刑事事件などに携わっている教員が、個別具体的な事案の検討を通じて、情報収集能力、事案分析能力、文書作成能力、論理的思考力、問題解決能力などの向上を目的とした実践的な教育を行う科目である。
51	演習IIIB	3	佐藤 直史	専任	2	弁護士実務経験に加え、アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、学生のみなさんが法学部で学び、身につけたことを社会でどのように活用するかについて、実践的に学ぶ科目です。
52	演習IIIB	3	白出 博之	専任	2	弁護士として裁判実務、および我が国のODA事業である法整備支援の長期専門家として立法支援業務等の実務経験をこの演習の内容に活用します。

演習	53	演習ⅢB	3	遠山 圭一	専任			2	弁護士として、民事事件・刑事事件などに携わっている教員が、個別具体的な事案の検討を通じて、情報収集能力、事案分析能力、文書作成能力、論理的思考力、問題解決能力などの向上を目的とした実践的な教育を行う科目である。
	54	演習ⅣA	4	佐藤 直史	専任			2	弁護士実務経験に加え、アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、学生のみなさんが法学部で学び、身につけたことを社会でどのように活用するかについて、実践的に学ぶ科目です。
	55	演習ⅣA	4	白出 博之	専任			2	弁護士として裁判実務、および我が国のODA事業である法整備支援の長期専門家として立法支援業務等の実務経験をこの演習の内容に活用します。
	56	演習ⅣA	4	宮崎 清幸	専任			2	課税実務に従事した経験を活かし、広い視野に立った物事の判断を身に付けることができる。
	57	演習ⅣA	4	遠山 圭一	専任			2	弁護士として、民事事件・刑事事件などに携わっている教員が、個別具体的な事案の検討を通じて、事案分析能力、問題解決能力、論理的思考力などの向上を目的とした実践的な教育を行う科目である。
	58	演習ⅣA	4	宮本 雅史	専任			2	企業内弁護士として、企業の人事労務管理や法務の実務、トラブル・課題解決に携わってきた経験を活かし、受講生のみなさんにアドバイスや解説を行います。
	59	演習ⅣB	4	佐藤 直史	専任			2	弁護士実務経験に加え、アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、学生のみなさんが法学部で学び、身につけたことを社会でどのように活用するかについて、実践的に学ぶ科目です。
	60	演習ⅣB	4	白出 博之	専任			2	弁護士として裁判実務、および我が国のODA事業である法整備支援の長期専門家として立法支援業務等の実務経験をこの演習の内容に活用します。
	61	演習ⅣB	4	宮崎 清幸	専任			2	課税実務に従事した経験を活かし、広い視野に立った物事の判断を身に付けることができる。
	62	演習ⅣB	4	遠山 圭一	専任			2	弁護士として、民事事件・刑事事件などに携わっている教員が、個別具体的な事案の検討を通じて、事案分析能力、問題解決能力、論理的思考力などの向上を目的とした実践的な教育を行う科目である。
	63	演習ⅣB	4	宮本 雅史	専任			2	企業内弁護士として、企業の人事労務管理や法務の実務、トラブル・課題解決に携わってきた経験を活かし、受講生のみなさんにアドバイスや解説を行います。
合計						38	43	58	